

スズキ、初のバッテリーEV

「e VITARA」をインドで公開



スズキは、2025年1月17日からインド・ニューデリーで開催されている「Bharat Mobility Global Expo 2025※」にて、スズキ初のバッテリーEV (BEV) 「eVITARA」を一般公開しました。

「eVITARA」は、2024年11月にイタリア・ミラノで初公開されたスズキのBEV世界戦略車第一弾です。BEVのグローバルモデルとして、2025年春よりスズキの子会社マルチ・スズキ・インドゥア社(以下マルチ・スズキ)のグジャラート工場で生産を開始し、2025年夏頃からインド、欧州、日本など世界各国で順次販売を開始します。

今回、インド国内仕様の量産モデルを初めて公開しました。車体色の異なる「eVITARA」の展示車8台に加え、車両のカットモデルやeAxleなどのBEVユニットの技術展示もおこないます。

また、17日に行われた記者発表会にて、インドにおけるBEVの普及に向けた取り組みを発表しました。マルチ・スズキの持つインド国内の販売・サービスネットワークを活かし、充電設備等、お客様が安心してBEVをご使用していただける環境の整備を進めてまいります。

記者発表会の中で、鈴木社長は「スズキのBEV世界戦略車第一弾を発表するにあたり、BEVに何が求められているのかを理解するために、お客様の声に耳を傾けてまいりました。そして、安心してBEVをお選びいただけるよう、ここインドで私たちのリソースを最大限に活用し、充電網をはじめとしたBEVのエコシステムを構築します。「eVITARA」は、先日発表した「10年先を見据えた技術戦略」で掲げる、エネルギー極少化の第一歩です。これからもスズキは、インド、そして世界中でサステナブルな未来を目指し、前進してまいります」と述べました。

※ メディアデー：1月17日～18日、一般公開日：1月19日～22日

以上